本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	所在地	電話番号
本社ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1−1−1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29−1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749(62)7171)

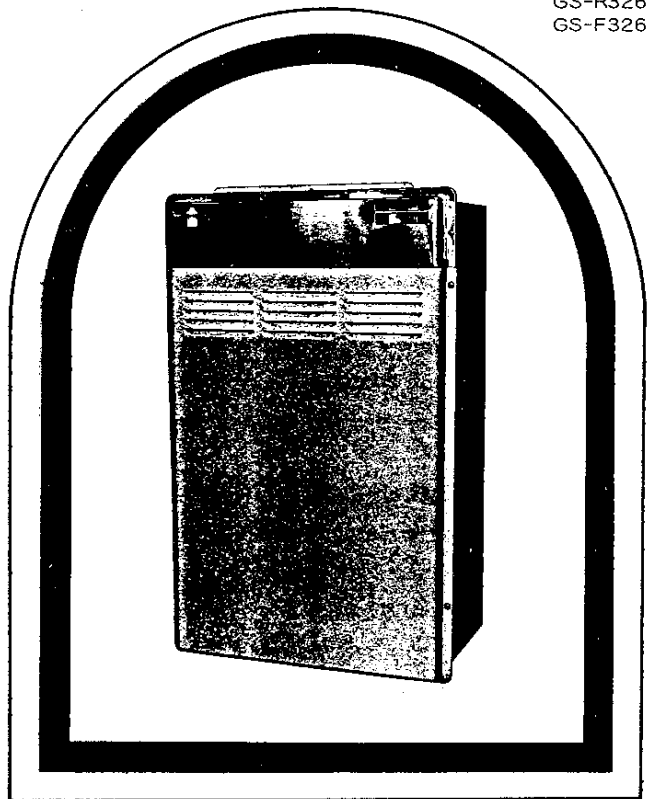
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

034N-14000

ガス給湯暖房機 シンプルシステム〈エックスMARKⅡ〉
取扱説明書 44-710·711·712型 44-713·714·715型

保証書付

型式 GS-R325D-W
GS-F325D-WA
GS-R326D-W
GS-F326D-WA

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください

ごあいさつ

このたびは、大阪ガス給湯暖房シンプルシステム〈エックスMARKⅡ〉を、お求めいただきましてありがとうございます。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

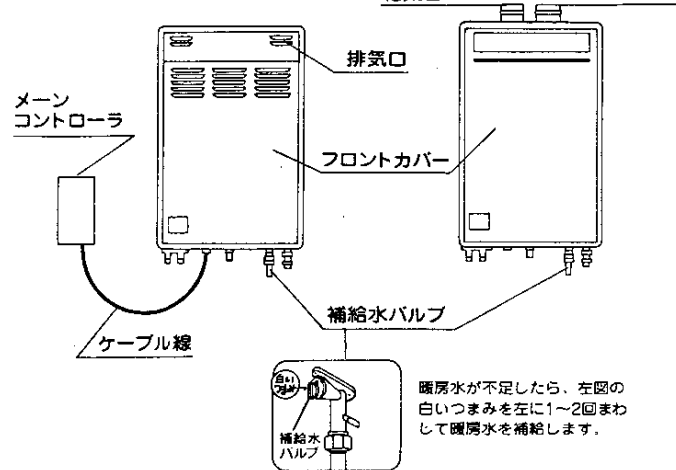
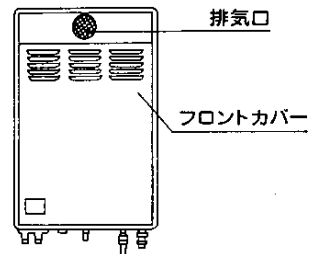
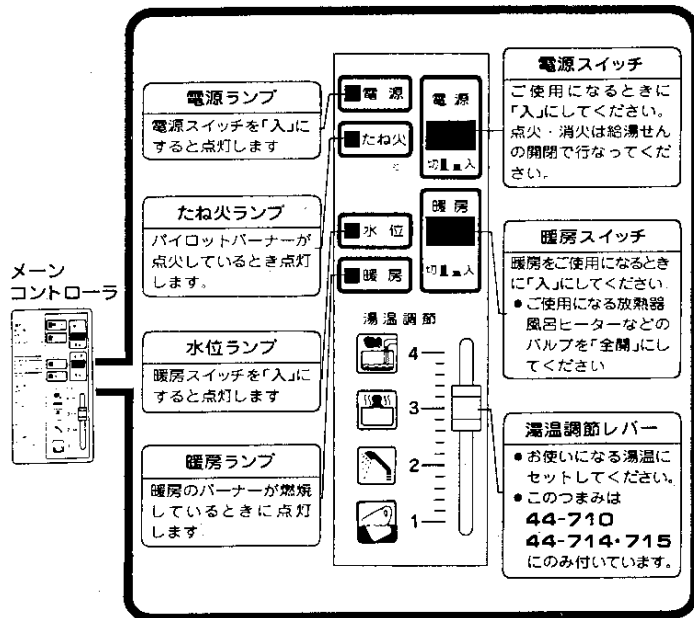
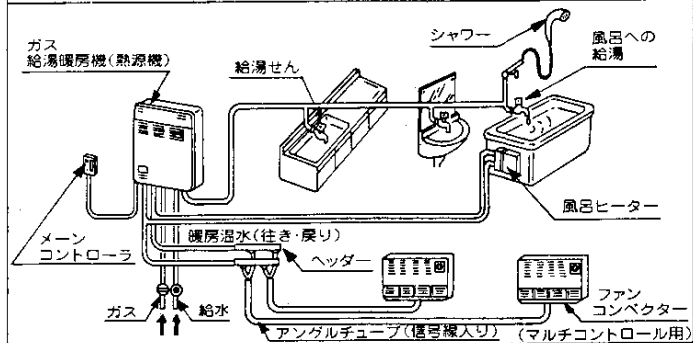
各部の名称①

外観・構造

●据置設置・扉直付設置
44-710・44-711・44-714型

●屋内設置
44-713・44-715型

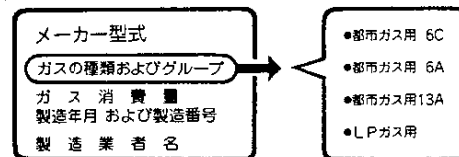
給気口
排気口
排気口
メーン
コントローラ
フロントカバー
補給水バルブ
ケーブル線
白いつまみ
補給水
バルブ

暖房水が不足したら、左図の白いつまみを左に1～2回まわして暖房水を補給します。

●扉内設置
44-712型

各部の名称②

ガス給湯暖房機シンプルシステム〈エックスMARKⅡ〉の概要

特に注意していただきたいこと①

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。

給湯暖房機(以下熱源機)本体前面下部または、右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と熱源機銘板のガスの種類が一致しているか確かめてください。

使用電源についてのご注意

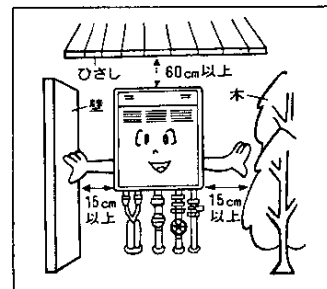
●電源の電圧と周波数を確かめてください。

この熱源機はAC100V、60Hz用です。熱源機の銘板に表示してある電源の電圧とお宅の電源の電圧が一致しているか確かめてください。

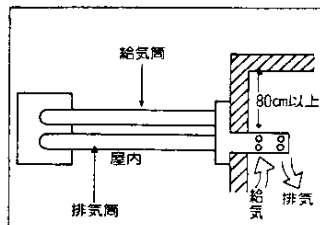
使用場所についてのご注意

●壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

〈44-710・711・712・714の場合〉

●屋外専用の熱源機です。屋内には絶対取り付けないでください。
排気ガスが充満して危険です。

特に注意していただきたいこと②

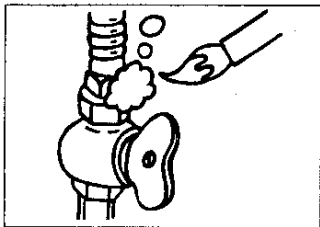
〈44-713・44-715の場合〉

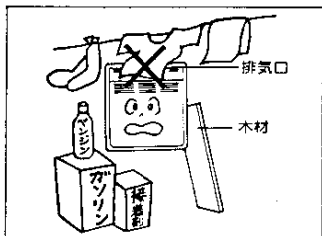
●屋内専用の熱源機です。給気筒・排気筒が取付けてあるか確かめてください。

使用上のご注意

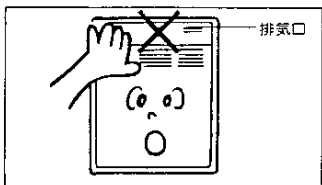
(1) ガス漏れ予防

●使用後は、たね火・暖房ランプが消えたことを確かめてください。

●長期間使用しないときは、必ず電源スイッチを切り、ガス元せんを閉めてください。

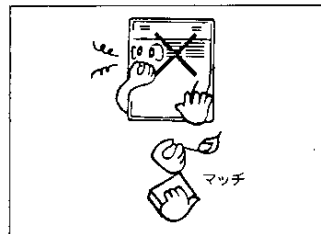
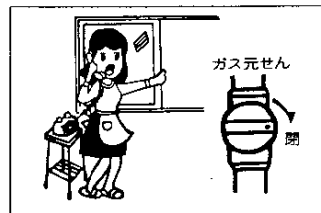
●配管や熱源機との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。

(2) 火災予防

●熱源機の上や周囲には燃えやすい物を置かないでください。
特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。

(3) 火傷にご注意

●使用中および消火直後は、熱源機の前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

特に注意していただきたいこと③

(4) ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉め、お買い求めのガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

(5) 凍結についてのご注意

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため熱源機、および配管内の水が凍って、熱源機または配管を破損することがあります。
詳しくは、17～20ページの「凍結防止について」をお読みください。

(6) 異常時の処置

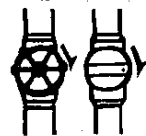
●万一、熱源機が異常燃焼（メーンバーナー着火時や使用中に"ゴー"と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めのガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。

お湯の使用場所

2. 電源スイッチを「切」にする。

メーンコントローラ

3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。

器具の下部

特に注意していただきたいこと④

(7) たまった水は飲まないでください

●熱源機内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

(8) アース(接地)のご確認

ご使用前に、次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ず確かめてください。

●分電盤内のアース端子へアース線が接続されているか。

●アース棒を使用しているか。

●コンセントのアース端子へアース線が接続されているか。

〔ご注意〕漏電しゃ断器付ブレーカから本体に配線されていることを確認してください。

日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは、必ず行なってください。
(詳しくは23ページをお読みください)

●故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。不完全な修理は危険です。

熱源機の設置について

(詳しくは工事説明書をお読みください)

●熱源機の設置は、お買い求めのガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。

●安全な位置に正しく設置されているか確認してください。

使用手順①

点火前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。

器具の下部

2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。

お湯の使用場所

3. ガス元せんを全開にしてください。

器具の下部

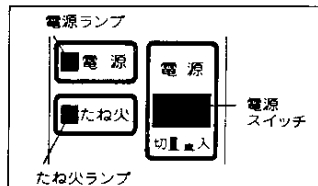
4. 器具用のブレーカを「入」にしてください。

屋内の分電盤

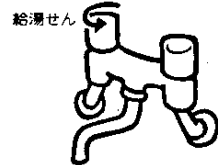
給湯の使い方

点火

❶ メーンコントローラの電源スイッチを「入」にします

(電源ランプ(緑色)が点灯します)

❷ 給湯せんを開けます

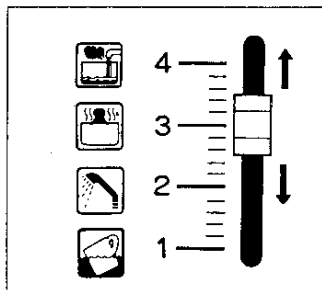
●パイロットバーナーとメーンバーナーに点火し、お湯が出ます。
(点火と同時に、たね火ランプ(赤色)が点灯します。)

給湯せんを開いて45秒たってもたね火ランプがつかないときは、いったん給湯せんを閉め、電源スイッチを「切」にし再び「入」にして給湯せんを開いてください。

使用手順②

湯温調節(44-710·44-714·44-715

●44-711・44-712・44-713には湯温調節機構はついていません。約60℃のお湯ができます。

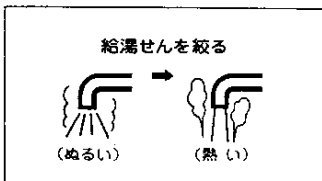
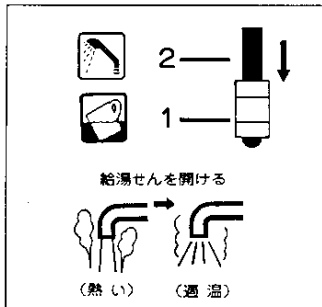
●お使いになる湯温にセットしてください。
（季節により多少変化することがあります）

数 字	絵 文 字	湯 温（目 安）
4		高　温 約75℃
3		や や 熱 め 約50℃
2		シャワーなど 約42℃
1		ぬ る ま 湯 約35℃

夏期には

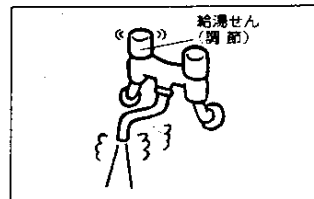
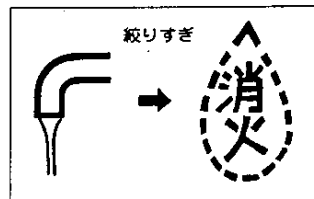
●水温が30℃近くになりますと、温度調節レバーを「1」、「2」にセットしても湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

冬期には

●冬期水温が低くなった時、温度調節レバーを「4」にセットしても湯量が多い場合には湯温が下がります。このような場合は、湯量を絞ってお使いください。（44-710・44-714・44-715）

44-711・44-712・44-713も冬期には同様の現象がおきます。同じように絞ってお使いください。

使用手順③

給 湯

●湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。

●熱源機からの湯量を約3ℓ／分以下に絞りますと、メーンバーナーの火が消えるようになっています。

使用手順④

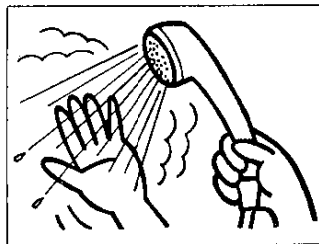
〔注〕

●給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

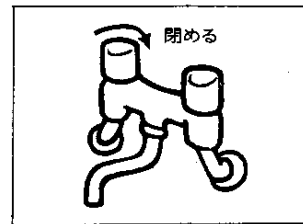
●2カ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。

●シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。
（シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります。）

使用手順⑤

消火

❶給湯せんを閉めます

●お湯が止まり、メーンバーナーが消火します。しかし、たね火ランプ(赤色)は消灯しません。

●メーンバーナーの消火後、約15分間は、パイロットバーナーのみ燃焼し、排気ファンは運転状態になっています。これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。

（給湯せんを閉めてから約15分経過後、自動的にパイロットバーナーも消火し、たね火ランプ(赤色)が消え、排気ファンの運転も停止します。）

●次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでメーンバーナーに着火してお湯が出てきます。

お出かけや、おやすみの際など

❷長時間使用しない場合

電源スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。
電源ランプ(緑)が消えます。

使用手順⑥

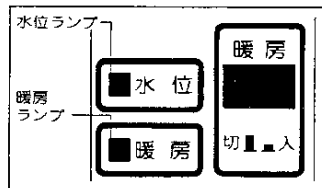
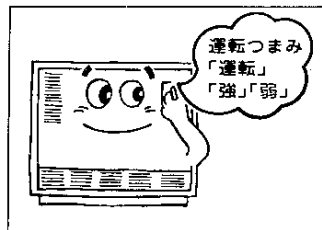
暖房の使い方

●エックスⅡシステムは、マルチコントロールシステム(各暖房端末からの運転が可能)を採用しております。

❶ メーンコントローラの電源スイッチを「入」にしておきます

●電源ランプ(緑)が点灯します。

点火

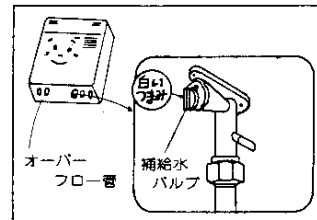
●ご使用になるファンコンベクターの運転つまみを「運転」もしくは「強」か「弱」にお合わせください。自動的に熱源機が運転し、メーンバーナーに着火しファンコンベクターの運転ランプが点灯します。

●このとき、メーンコントローラの暖房ランプ(赤)、水位ランプ(緑)が点灯します。

●運転開始以降しばらくしますとファンコンベクターから温風が吹出します。またメーンバーナーのオン・オフが始まり、ファンコンベクターの運転ランプが、それに伴なって、点灯、消灯を繰り返します。またメーンコントローラの暖房ランプも点灯、消灯を繰り返します。

〔注〕ファンコンベクターの運転スイッチを急に「停止」にすると、「コトン」という音がすることがあります。ファンスイッチはゆっくりと操作してください。

使用手順⑦

〔注〕

●暖房にご使用になる端末機器は、用途、タイプによって操作方法が若干変わることがありますので、それぞれに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

●メーンコントローラの水位ランプ(緑色)が点灯していないときは、電源スイッチを「切」にし、補給水タンクに補給してください。補給水タンクの水は蒸発しますので約1カ月に1度ぐらい水を補給してください。

●熱源機底面の補給水バルブを左に回してオーバーフロー管から水が流れ出すまで補給してください。

●〈44-714・44-715の場合〉
補給水は自動的に給水されますので補給の必要はありません。

●各ファンコンベクターの運転ランプまたは暖房燃焼ランプ(赤)が消灯しているときは燃焼していません。このような場合は、いったんメーンコントローラの電源スイッチを「切」にし、しばらく待ってから電源スイッチを「入」にしてください。

●室温が高い場合には、電源スイッチを「入」にしても暖房ランプ(赤色)が点灯しない場合があります。

●ファンコンベクターの空気抜き弁、水抜きせんは絶対に開けないでください。
(特に2階にファンコンベクターを設置されている場合は、空気抜きを行なったり、加湿用の水をファンコンベクターから取ると、暖房配管の水が抜けてしまい、運転できなくなりますから注意してください。この場合は水位ランプ(緑色)が点灯しません。)

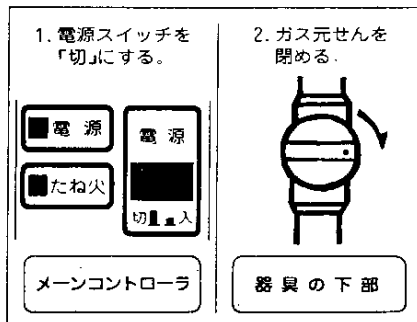
使用手順⑧

消 火

すべてのファンコンベクターの運転つまみを「停止」の位置にもどしてください。
運転ランプが消え、同時にメーンコントローラの水位ランプ(緑)、暖房ランプ(赤)が消えます。

お出かけや、おやすみの際など

❷長時間使用しない場合

電源スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。
〔電源ランプ(緑)が消えます〕

停電後の使用方法

- 停電すると自動的にガスが止まり、給湯・暖房とも燃焼が停止します。
- 再通電したときは、給湯・暖房とも自動的に復帰し、再燃焼します.
- 長時間停電したときは、念のため給湯せんを閉めて、電源スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、7および12ページの「点火」に従って操作してください。

使用手順⑨

※マルチコントロールシステムになっていない場合

❶バルブを全開にします

- 暖房配管またはご使用になるファンコンベクター、風呂ヒーターなどのバルブを全開にしてください。
  ファンコンベクターに電動弁を使用している場合は、ファンコンベクターの切替スイッチを「ON」にすると自動的に「開」になります。

点 火

❷電源スイッチを「入」にします

- 電源スイッチを「入」にしてください。
- 電源ランプ(緑)が点灯します。

❸暖房スイッチを「入」にします

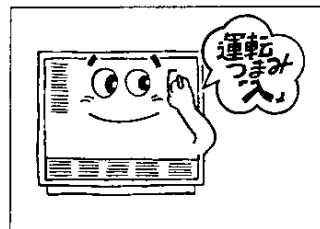
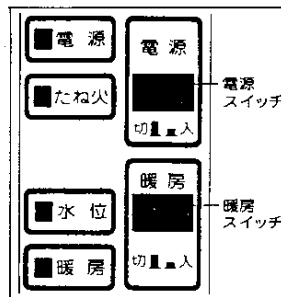
- 暖房スイッチを「入」にしてください。
- 自動的にメーンバーナーに着火し、暖房ランプ(赤)が点灯します。
- 室内のファンコンベクターの運転つまみを入れると、しばらくしてファンが回り、温風が出て室内を暖房します。

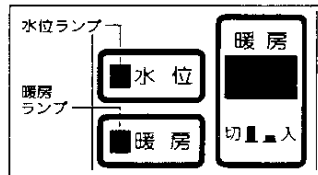
〔注〕ファンコンベクターの運転つまみを急に「停止」にすると、「コトン」という音がすることがあります。運転つまみはゆっくりと操作してください。

〔注〕

- 暖房ランプ(赤)が消灯しているときは燃焼していません。このような場合は、いったん暖房スイッチを「切」にし、しばらく待ってから暖房スイッチを「入」にしてください。
- 室温が高い場合には、暖房スイッチを「入」にしても暖房ランプ(赤)が点灯しない場合があります。

使用手順⑩

消火

❸ 暖房スイッチを「切」にします

バーナーが消火し、暖房ランプ(赤)、水位ランプ(緑)が消灯します。

凍結防止について①(暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。)

●凍結すると熱源機や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、熱源機が異常(空だきなど)をおこす危険があります。

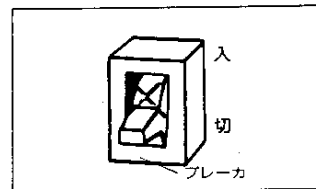
●凍結による修理は有料です。

凍結防止方法

給湯

❶ 凍結予防ヒーターによる方法

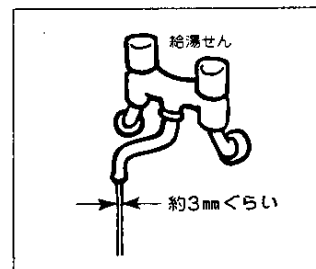
●この熱源機には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に熱源機内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。

●凍結予防ヒーターは分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対にブレーカを「切」にしないでください。

●凍結予防ヒーターは、メーンコントローラの電源スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

〔注〕外気温が極端に低く(庭のたまり水などが凍るおそれのある日)なりますと、この凍結予防ヒーターでは効果ありません。このような場合は、次の❷または❸の方法を行なってください。

❷ 給湯せんから水を流す方法

●ガス元せんを閉め、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。

●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確かめてください。

凍結防止について②

●水抜きによる方法

(長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき)

次の順序で行なってください。

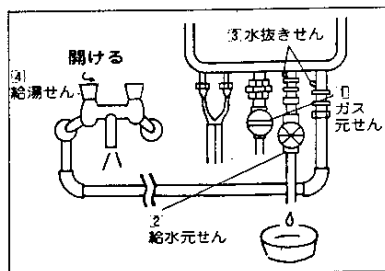
(1) 電源スイッチを「切」にし、ガス元せん①を閉める。

(2) 給水元せん②をしっかり閉める。

(3) 水抜きせん③を開ける。(2本)

(4) 給湯せん④を全部開ける。

●給湯せん④と、水抜きせん③から水が抜けるのを確かめてください。

●次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

〈水抜き後の使用方法〉

(1) 水抜きせん③を元通り、しっかり閉める。(2本)

(2) ガス元せん①を閉めた状態、および電源スイッチを「切」にした状態で給水元せん②を開け、給湯せん④から水が出るのを確かめたのち、給湯せん④を閉めてからお使いください。

(3) 再使用するときは、7および12ページ「 点火 」に従って操作してください。

ご注意

●もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(メーンコントローラの電源スイッチを「切」にした状態で)、給湯せん④を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

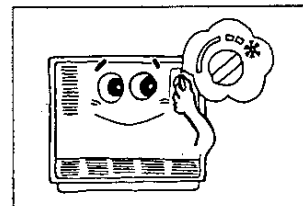
凍結防止について③

暖 房

●冬期外気温が0℃以下になりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。
配管や熱源機が破損しますと、水漏れなどで多大な被害を引き起こしますので、必ず不凍液を注入してください。暖房水に不凍液を使用することで凍結が防止できます。

●不凍液の濃度が下がってきますと、凍結防止の効果が弱くなってきますので、厳冬期には以下の操作をお願いします。

(1) 暖房スイッチを「切」にしてください。

(2) 各部屋のすべてのファンコンベクターの操作つまみを「※」にしてください。
(詳細については、ファンコンベクターの「取扱説明書」に従ってください。)

44-714、44-715の場合「※」のないファンコンベクターをお使いのときは、放熱器入口に取付いている開閉バルブを開いてください。

〔注〕 ※分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を防止します。
※ポンプが回転したとき、メーンコントローラの電源ランプ、水位ランプが点灯しますが故障ではありません。

●不凍液について

●不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。指定以外の不凍液はシステムに影響を与える場合がありますのでご使用にならないでください。

●不凍液濃度は地域、設置場所、気温などにより異なります。めやすとしてはファンコンベクター1台の場合は2缶です。(1缶は1ℓです。)

●適正濃度を保つため1年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入する必要があります。不明な点はもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションまでご連絡ください。

凍結防止について④

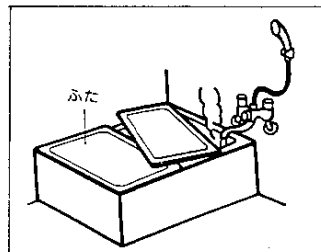
●不凍液の取扱い
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 万一飲み込んだ場合には吐かせ、また皮膚についたり目に入った場合は、すぐ水洗するなどの応急処置を行なって医師に直ちに相談してください。
- 他の不凍液と絶対に併用しないでください。
- 一度開けた缶は残さず使いきってください。

凍結したとき

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
●凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
●器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

本製品と快適な暮しのために

風呂への給湯・沸き上げは……

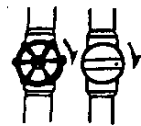
●給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
●ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯するか、もしくは沸き上がるようにすると経済的です。

安全装置が作動したときの処置方法①

処置について

●点火しなかったり、ご使用中にメーンバーナーが消火したときは、24ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてからお買い求めのガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1. 電源スイッチを「切」にする。

メーンコントローラ

2. 給水元せん・ガス元せんを閉める。

器具の後部

3. ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ。

連絡

給湯パイロット安全装置

●パイロットバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、メーンコントローラのたね火ランプ(赤)の消灯でお知らせします。
このような場合は、7ページの方法で再点火してください。

暖房バーナー安全装置

●暖房のメーンバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、ファンコンベクターの運転ランプおよびメーンコントローラ暖房燃焼ランプ(赤)の消灯でお知らせします。
このような場合は、12ページの方法で再点火してください。

空だき防止装置(暖房)

●暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり、水位ランプ(緑)が消灯します。
このような場合は、13ページの方法で補給水タンクに水を補給してください。

安全装置が作動したときの処置方法②

空だき安全装置(給湯・暖房)

●万一、メーンバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

過熱防止装置

●万一、熱源機が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

電流ヒューズ

●過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

過圧逃し弁(給湯)

●熱源機内の水圧が異常に上昇したときに作動し、熱源機内の圧力を下げて、熱源機の損傷を防止します。

停電時安全装置

●使用中に停電になると停電用安全回路が作動し、ガスを自動的に停止し、運転が止まります。
停電後の使用方法については14ページをお読みください。

ファン回転検知装置

●ファンが所定の回転数以上で回らなくなったとき、検知装置が働いて、自動的にガスを止め、運転が止まります。

凍結予防ヒーター(給湯)

●給湯回路の凍結を予防するために、低温になると働きます。
詳しくは、17ページをお読みください。

水流スイッチ

●給湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、自動的にガスが止まります。

日常の点検・手入れ

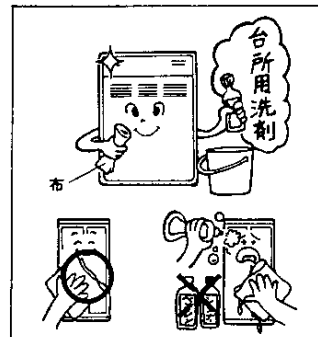
点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを閉め、メーンコントローラの電源スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、熱源機が冷えてから行なってください。

点　　検

●熱源機および配管より水漏れはありませんか。
（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください）
●運転中に、熱源機から異常音が聞こえませんか。
●熱源機の外観に異常は見られませんか。
●熱源機のまわりに燃えやすいものはありませんか。

お手入れ

●熱源機の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。
シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

●メーンコントローラ部の表面が汚れたときには、水をつけた布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

〔注〕メーンコントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの大阪ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

■故障・異常の見分け方と処置方法について（○＝主原因、△＝原因）

原因＼現象		寒い日に排気口から湯気が出る	給湯せんを開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めてもたね火ランプが消えない	運転ランプが点灯しない 暖房運転スイッチを「入」にしても	たね火ランプ・暖房ランプが点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法	お客さま	販売店・ガス会社
ブレーカが「入」になっていない		異常ではありません	○					異常ではありません 15分間点灯しその後消えます	○			ブレーカを「入」にする	*	
ガス元せんの開き不十分			△	△	○		△			△	△	ガス元せんを全開にする	*	
給湯せんの開けすぎ				△	○		△					給湯せんを絞る	*	
配管内に空気が残っている			△	△						△		点火操作を繰り返す	*	
ガス圧が適切でない	低い		△	△	△		△			△	△	他の器具も同様の場合は点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い			△										*
給水元せんの開き不十分			○	△		○	△					給湯せんをいったん閉めてから給湯元せんを全開にする	*	
水圧が適切でない	低い		○	△			△					点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い						△							
水フィルターの詰まり			△	△		△	△					詰まり除去 または依頼する		*
断水している			○									給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している			○									解凍するまで使用を中止する	*	
バーナー炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり			△	△	△					△	△	点検を依頼する		*
熱交換器の目詰まり				△	△						△	点検を依頼する		*
湯温調節が適切でない					○	○	○					使用方法（湯温調節）を参照する	*	
給湯せんの開き不足			△	△		○	△					給湯せんを全開にする	*	
ノズルの詰まり			△						△	△		点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
安全装置が作動した			○	○						○		点検を依頼する（度々作動する場合）		*
流水スイッチの故障			△	△	△	△	△					点検・修理・部品交換を依頼する（他に原因がないとき）		*
電気部品の故障			○	△	△	△			○	○	○	点検を依頼する		*
ポンプが回転しない											○	点検を依頼する		*
水フィルターまたはポンプのごみ詰まり											○	点検を依頼する		*
補給水タンクの水不足									○			補給水タンクへ水を補給する	*	
燃焼用ファンが回転しない			○							○		点検を依頼する		*

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へご連絡ください。

仕様①

器種名		ガス給湯暖房機				
型式名		GS-R325D-W		GS-R326D-W	GS-F325D-WA	GS-F326D-WA
BL品番		DD-205RFA	DD-205RFB		DD-205FFA	
品名		44-711 44-712	44-710	44-714	44-713	44-715
種類	給湯方式	先止め式				
	暖房方式	温水循環方式				
	給排気方式	強制排気方式			強制給排気方式	
設置方式		屋外設置			屋内設置	
点火方式		電子イグナイタによる連続放電点火式				
着火方式	給湯	ダイレクト着火（パイロットバーナー経由）				
	暖房	ダイレクト着火				
外形寸法	本体	高さ750㎜×幅480㎜×奥行290㎜				
	メーンコントローラ	高さ160㎜×幅90㎜×奥行28㎜				
重量	本体	36kg（運転時40kg）				
	メーンコントローラ	0.2kg				
水圧	使用水圧	1kg/㎠以上				
	作動水圧	0.2kg/㎠				
最低作動水量	給湯	3ℓ/分				
	暖房	0ℓ/分以上（締切り使用可能）				
ポンプ機外揚程		5mH_2O（5ℓ/分のとき）				
温度制御方式	給湯	電子式比例制御方式				
	暖房	電子式Hi-Lo-OFF制御方式				
温度調節	給湯	44-710·714·715				44-711·712·713
		〔1〕	〔2〕	〔3〕	〔4〕	60℃一定出湯
		約35℃	約42℃	約50℃	約75℃	
	暖房	[7000↔3000Kcal/h]：OFF85℃-ON65℃、[3000-0Kcal/h] OFF88℃-ON68℃				
排気ファン制御方式	給湯	負荷によるHi-Lo-制御				
	暖房	負荷によるHi-Lo-OFF制御				
	同時	Hi一定（強回転）				
安全装置		給湯パイロット安全装置・暖房バーナー安全装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター・水流スイッチ・誘導雷保護装置				
消費電力		最大160W				
		凍結予防ヒーター作動時：上記プラス48W（−10℃）				
接続	ガス	PT¾オネジ				
	給水・給湯	給水・給湯配管用20Aソルダー継手付属（PF¾）				
	暖房	暖房配管用15A（44-714·715 20A）ソルダー継手付属（PF¾）				
	オーバーフロー	PT½オネジ				
	電気	本体電源 AC100V 3心（うち1心アース用）				
		メーンコントローラ～本体 DC24V 8心				
付属品		メーンコントローラ（一式）・M5ねじ（3本）・配管用継手類（一式）				

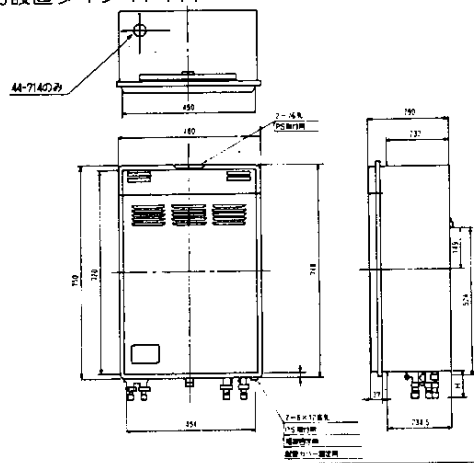
仕様②

使用ガス 使用ガスグループ		型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)	
			全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時	
				最大	最小		給湯	暖房
都市ガス用	4B	GS-R325D-W GS-F325D-WA GS-R326D-W GS-F326D-WA						
	4C							
	5C							
	6A		32,300	23,800	7,400	8,500	19,500(13号)	7,000
	6B							
	6C		32,300	23,800	7,400	8,500	19,500(13号)	7,000
	7C							
	12A							
	13A		32,300	23,800	6,800	8,500	19,500(13号)	7,000
LPガス用		GS-R325D-W GS-F325D-WA GS-R326D-W GS-F326D-WA	2.42 kg/h	1.78 kg/h	0.59 kg/h	0.64 kg/h	17,500 (11.7号)	6,300

●給湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。
●使用ガスグループ中の斜線部は生産しておりません。

外形寸法図①

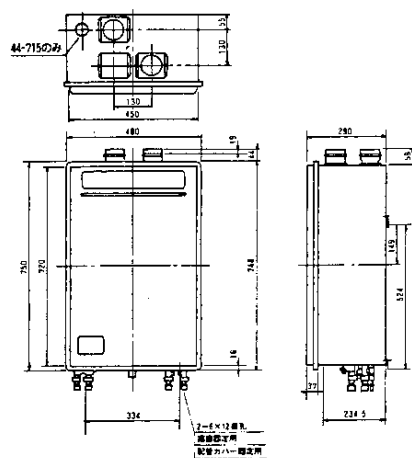
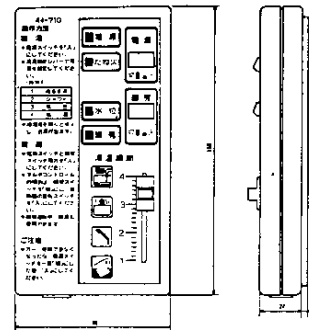
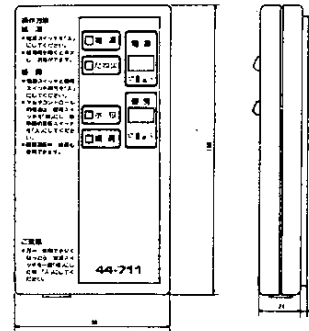
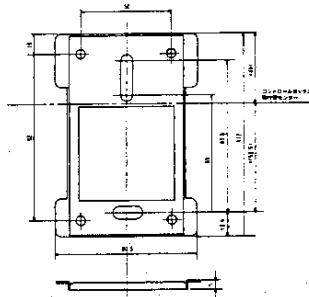
(1)屋外設置標準タイプ44-710、44-714(密閉タイプ)
扉直付設置タイプ44-711

44-714のみ

外形寸法図②

(2)屋内設置タイプ44-713、
44-715(密閉タイプ)

44-715のみ

●メーンコントローラ
温調付

定温型

メーンコントローラ取付板

長期間使用しない場合

必ずガス元せん・給水元せんを閉め、メーンコントローラの電源スイッチ・暖房スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、下記の処置を行なってください。

給湯側

●18ページの(❸水抜きによる方法)を参照のうえ、水抜きを行なってください。

暖房側

●お買い求めの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。
調査のうえ、必要とあれば大阪ガス指定の不凍液を入れさせていただきます。

アフターサービスのお申し込み①

サービスのお申し込み

●24ページの「**故障・異常の見分け方と処置方法**」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品 名………ガス給湯暖房機〈**エックスMARKⅡ**〉
(2) 品 番………前板左下部または、右側面下部に貼付してあります。
(3) 現 象………できるだけ詳しく。
(4) 道 順………できるだけ詳しく。

（例）

(N)44-710(U)
大阪ガス株式会社
744 710 04
(DD-205RFB)

アフターサービスのお申し込み②

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります

保証書について

この器具には保証書がついています

●このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

●無料修理期間経過後の修理についても、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご相談ください。

●当社は当製品製造中止後10年を基準に補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

●性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

おねがい

ガスくさいときはお部屋のガス元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。